

# 最上川

山形県倫理法人会  
広報ものがみがわ  
平成30年8月30日発行  
www.yamagata-rinri.net

vol. 54

広報最上川 vol. 54

【発行】山形県倫理法人会  
【発行人】安藤政則 【編集人】五十嵐久仁子

【表紙題字】中村俊光氏



山形県倫理法人会  
安藤政則会長・水沢正志幹事長  
2年間ありがとうございました！  
仏壇のやんぽ p.6-9  
倫理経営企業訪問・えがおのげんば

一般社団法人 倫理研究所  
山形県倫理法人会

## 今期の女性委員会を振り返って

山形県倫理法人会 女性委員長 佐藤圭子

昨年は初めて女性委員長をお受けし、綱渡りのような走り出しでしたが皆様のおかげで何とか二年目の今期に繋ぐことができました。

研究所の今年度の活動方針「新に挑む」のローガンを踏まえて、30年度の女性委員会も「新」に挑戦！ブロック毎に「学びセミナー」の展開を企画してみました。



この理由として、一つは地域密着型の活動をし地域企業や女性の皆様に「倫理法人会」を知っていただくこと。もう一つは、各ブロック内単会の繋がりを強化しコミュニケーションを深めて頂きたいと思ったからです。

置賜ブロック「日本の風呂敷活用法」、村山Aブロック「骨格スタイルセミナー」&気軽に学べる食事のマナー、村山Bブロック「味覚の授業&陶芸」、庄内ブロック「癒しの時間、アロマとクラゲヨガ」。各ブロックの正副実行委員長の皆様は、開催企画書から始まり、告知、集客、当日の運営、終了後の開催報告書の提出まで、とても素晴らしいリーダーシップを発揮され、どのブロックも地域性を生かした素敵なセミナーに仕上がっております。会場を出るとき参加者の皆様の笑顔が本当に印象的で、どの企画も大成功を確信いたしました。

そして、一年の締めくくりと、次年度への布石となる企画として7月28日「観緑会〜七つの原理インプット会〜」を、「山菜料理の出羽屋（寒河江市倫理法人会 佐藤女性委員長）」さんで開催しました。講義を普通純一副会長に、体験報告を田中幸子県女性副委員長にお願いしました。美味しいお料理を頂きながら懇親を深め「人生」について考える良い時間を過ごせました。

今期一年、多くの皆様と共に良い活動ができたと実感しております。本当にありがとうございました。



### 編集後記

山形県倫理法人会  
広報委員長 五十嵐久仁子

5年前、入会と同時に県広報副委員長を拝命し「なんて強引な！」と騒いでおりましたが、珍しい事ではなく多くの方が同じ状況だったと知りました。初めは私を誘って下さった土屋和浩前々委員長と菅野美奈子前委員長について行くのがやっとで「ホウメンチョウ」「レクチャー」意味不明な言葉に右往左往したり、締め切りまで原稿が揃わず責め心と戦いながら、広報誌「最上川」の役割は何か？と何度も自分に問いました。「MS参加者は3割にも満たず、本質が7割の方に伝わっていない。全会員に届く広報誌で、倫理実践の成果を企業取材で深く伝え、単会活動の様子を明るく丁寧に掲載し、多くの方が参加するキッカケを作りたい」そんな想いで発行し、更に女性委員会とのコラボで女性版広

報のWildflowersも誕生しました。入会するなり県広報のお役を頂いたからこそ、山形県内多くの素晴らしい方々と出会う事ができました。この経験は私の大きな財産です。未熟な私にも暖かく対応してくださった会友の皆様、鈴木さんを始め事務局の皆様、本当に感謝いたします。次期は「副」として、土屋忠彰委員長をお支えし更に役に立つ「広報」を目指したいと思っております。引き続き「最上川」をご愛読いただき、広報委員会にご協力くださいますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



発行 山形県倫理法人会  
〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47  
TEL.023-647-5582  
FAX.023-646-7660  
www.yamagata-rinri.net  
発行日 平成30年8月30日





# 山形県倫理法人会 安藤政則会長・水沢正志幹事長 2年間ありがとうございました！



山形県倫理法人会の県会長と幹事長は、この8月をもって2年の任期を終え交代されます。設立25周年を経て、山形市霞城倫理法人会と酒田市みずほ倫理法人会を新しく設立し16単会とするなど数々の事業を行い、1572社から始まった会員数も2年間で270社増やすことができました。

## 事業のトピックス

### 平成29年度

- ・山形県倫理法人会 設立25周年記念行事(12月14日)
- ・山形市霞城倫理法人会設立(1月17日)
- ・全会員誕生日の

### 山形新聞一面記事プレゼント

- ・DOIN50(MS朝礼参加50%)
- ・30(MS参加者30%)開始
- ・1650社達成記念式典
- ・(1714社で達成)

### 平成30年度

- ・山形県倫理経営塾開塾
- ・第1期卒業生(6名)
- ・酒田市みずほ倫理法人会設立
- ・(7月20日)県内16単会に
- ・1800社達成記念式典
- ・(1842社で達成)

これらの計画、実行の中心となる大役を全うされた山形県倫理法人会安藤政則会長と水沢正志幹事長にお話を伺いました。

——2年前を振り返り、役を引き受けられた時の心境をお聞かせください。

**安藤会長** 前任の五十嵐慶三さんより何度かお電話を頂いたのですが、ずっとお断りしていました。私は当時役を受けておらず本業に没頭しており、倫理についてはブランクがあったのでお受けできないなあ。5月のある日、五十嵐慶三さんから夫婦同席の食事に誘われました。奥様もいらつしゃるといっただけでお断りできない、と妻を誘って行きました。私と慶三さんが向かい合わせで通夜のように俯いていると、隣ではキヤッキヤと賑やかに意気投合し「会長やってみなさいよー！大丈夫よ」と五十嵐夫人の軽やかな声。「そうね。あなたやりなさいよ。倫理好きでしょ？」と、私に向けた妻の声：ずっと



写真上：山形市霞城倫理法人会菅野会長と。下：酒田市みずほ倫理法人会第一回MSでは、受付担当を。

断っていたのに、そうして決まっちゃったんです。女性はすごいね。(笑)

**水沢幹事長** じゃ、そのすぐ後ですね。5月末頃、うちの会社に安藤会長が突然見えたのです。事前に打診を受けていました。幹事長は本当に大変そうだなと思っていたので「妻に相談しないとわからない」と、返事を伸ばそうとした矢先、半年に1度しか顔を出さない妻がたまたま会社に来て駐車場で安藤会長と会ってしまっただけです。安藤会長が直接妻に「私に力を貸していただきたい！」とアプローチ。妻は案外あっさり「わかりました」と返事をし(笑)もう、観念しました。

——いずれもキーマンは奥様ですね。5月からの組織作り、タイミングとしては遅めですのでご苦労されたでしょうね。

**安藤会長** 会長をお受けする時に、幹事長は水沢さんしかいない！と決めていましたので、彼が受けてくれるのが一番重要でした。その後は、本当に幸せな事に、どのお役の方もすんなり受けてくださったのです。有り難かったですね。

——任期中、特に印象深い出来事は

何ですか？

**水沢幹事長** 実は幹事長を引き受けて2〜3ヶ月後、倫理指導を受けたんです。多方面から飛んでくる意見や要望を何とか調整しようと。また、会長の言葉も自分で一旦受け止め咀嚼し伝えようとしていたのですが、もう大変で…。指導の内容は「会長の言葉はそのままスルーし伝えなさい」という事でした。それを実践したら大分気が楽になりました。会長のアイデア、計画を具体的な戦略に基づき一つ一つ実現させるのが幹事長の役割で「演出家」気分を味わえましたし、やり甲斐がありました。

**安藤会長** 倫理指導を受けられたのは知らなかった。大変でしたね…。私は特に辛いと思っただけはなかったです。それも、水沢さんが頑張ってくれたからです。感慨深い出来事としては、やはり2つの単会を作る時でしょうか。1年目、山形に単会を作る時は、私も週に何度も山形に通いましたね。この機会があったから山形市の会友と仲間になれたと思います。特に、当時実行委員長を受けてくださった板垣さんは素晴らしかった。最初は渋々だったかもしれませんが、



8/8 達成記念式典にて



県役員会で朝礼実習を取り入れました。

本気をだしてからのパワーが凄かった。そして、酒田市みずほ倫理法人会の設立では何と言っても栗本ブロッコ長ですね。彼も最初は慎重でしたが、設立式典で感極まりながら報告してくれた内容が全てですね。本当によくやってくれました。さらに2年を通しては、今田普及拡大委員長と島貫副委員長、この2人の力は大きいですね。

——最後に今の心境をお聞かせください。

**水沢幹事長** 本当に幹事長を引き受けて良かったです。どうか皆さんも役を積極的に受けて、この良さを味わっていただきたいと思っています。

**安藤会長** 快く役を受けてくださった役員の方々に始め、会長職を通じて本当に多くの素晴らしい仲間に出会え「本気で本腰を入れて本物にする」実践を、皆さんとやってこられたのだと思います。心から会長職を引き受けてよかったと思います。2年間ありがとうございました。

——二人三脚の全速力で走り続けた2年間、本当にお疲れ様でした！

(広報委員長 五十嵐久仁子)





達成単会表彰 (8/7 16:00現在)

山形市	目標180社→180社	100%
鶴岡市	目標130社→130社	100%
山形市中央	目標190社→190社	100%
北村山	目標105社→105社	100%
庄内中央	会長特別賞	
山形市蔵王	目標172社→172社	100% (8/17付)

8月8日(水)ホテルシンフォニーア  
ネットワークにて1800社達成記念式典が  
盛大に開催されました。水沢正志幹事長  
と各委員会委員長による事業報告で一年  
の活動を振り返りました。昨年に引き続  
き会員社数達成目標の1800社を上回  
る1842社で達成。単会目標を達成し  
た4単会と特別賞の表彰が行われ各会  
長より成果発表がありました。

那須隆北海道東北方面長より、全国  
で1位となった4.46%の高い浸透率を讃え  
た式辞をいただきました。(※浸透率＝会  
員数を県の企業数で割ったもの)。安藤  
政則会長より二年間を振り返り以下のお  
話がありました。

「入会した時も県会長にご指名頂いた時  
も葛藤がありました。結局お受けしたの  
は『誘われたら乗るもんだ。人には旬が  
ある。自分で気付かなくても周りがわか  
っているから誘っているのだ』という父

## ゆるぎない目標達成、そして全国1位の浸透率、山形県！ 平成30年度 1800社達成記念式典開催

の教えがあったからです。そしてこの二  
年、大眼目である地球の安泰を目的に掲  
げ、会員数とモーニングセミナーの参加  
者を増やす事が地元企業の安泰に繋がる  
という思いで皆さんと共に活動してきま  
した。新単会設立普及時に「倫理法人会  
を知らない」という方が少ないという実  
感を伴い、結果として浸透率が一番の山  
形県になりました。また、退会者が少な  
いのが山形の特徴でもあり5030運動  
の効果も大きかったと思います。そして  
倫理経営塾では6人の塾生達が人生と向  
き合い汗と涙を流しながら経営理念を絞  
り出し、卒業式で参加者全員と感動を共  
有しました。山形県は人口減少が加速化  
していますが、この若い塾生達に代表さ  
れるように倫理を学んだ人間性豊かな企  
業人達が生まれています。素晴らしい人  
材の揃う永遠なる山形県を信じ、二年間  
の感謝を込めて挨拶とさせていただきます  
。ありがとうございました」

祝賀会では法人局普及事業部和田毅  
部長から、山形の達成を喜ぶお祝いのメ  
ッセージと、全国の会員数が70,846  
社になり目標の7万社を超えたご報告が  
あり、お互いの健闘を称え合う笑顔溢れ  
る懇親の場となりました。



## 酒田市みずほ倫理法人会

# 県内16番目の単会として 誕生しました！



7月20日(金)酒田市のガーデンパレスみずほにて、酒田市みずほ  
倫理法人会設立式典が開催され、県内各地から多くの方がお祝いに  
駆けつけ盛大な会となりました。最初に栗本設立実行委員より、設立  
までの経過報告がありました。

「昨年10月設立実行委員長を引き受けてほしいと打診があった時  
『なぜ今なのか』と不安でしたが、安藤会長の『倫理法人会の活性化  
の為に、もっと多くの方に会長職を経験して欲しい。だから単会を  
増やしたい』という熱い思いを受け止め覚悟を決めました。設立は7  
月20日。6月20日までに100社以上で法人局に届け出の必要があります。しかし、当然簡単にはいかない。5月1日の段階でたった11社。  
多くの方に支援を頂いても、6月5日で46社。とにかく目一杯動き、  
支援の皆様と共に頑張ったのですが6月18日の段階で87社。この日  
最後の設立委員会で、私は『これが目一杯でした。すいません…』と  
思わず黙ってしまいました。すると『栗本さん、ほんとにいいのか?』  
『これは何とかしねばなんなね!』と、役員の皆様が力を振り絞って、  
凄いエネルギーが集まるのを感じました。そして翌日午前中が締め切  
り、万事休すか!…と諦めかけた11時30分、事務局から『100社を超  
えました!』という連絡が入り鳥肌が立ちました。そして今日、宣言  
通りの110社で式典を迎える事ができました。仕事をそっちのけで汗  
をかいてくれた多くの皆様へ心より感謝いたします」と、込み上げる  
感情を抑えながらの報告に、会場が賛美の拍手に包まれました。

坂元一成北海道・東北方面担当役員より「困難に出会っても思い  
を強くし行動を起こした時に応援者が現れて道が開けるとい、一筋  
の道筋を指し示してくれました」という那須隆方面長の式辞を代読頂  
きました。

村上幸太郎酒田市教育委員長から、公益を学ぶ風土がある酒田市  
にもう一つ倫理法人会が誕生した事は喜ばしいと祝辞を頂き、最後に  
佐藤清和会長より「今ここに立てるのは連日力を貸して下さった多  
くの会友の皆様のお陰と本当に感謝申し上げます。酒田市みずほ倫理  
法人会の目指すところは、明朗(ほがらか)、愛和(なかよく)。女性  
会員の多い笑顔が溢れる会にし、この笑顔が力となり喜働に結びつく  
事が、地域庄内の発展と人々の幸せ、そして経営の大眼目である地球  
の安泰に繋がると信じます」と、力強い決意表明がありました。

記念講演は、倫理研究所理事藤崎正剛研修部部長より「心の反転」  
というテーマで、大小の困難に遭った時どんな心持ちであれば良いか、  
原点に還るご講話をいただきました。



翌日は、第一回モーニングセミナーを南州神社で開催しました。  
法人局からお越しの坂元役員と藤崎部長はどちらも鹿児島県  
のご出身。西郷どん所縁の南州神社に一層のパワーを注いで下  
さいました。



# えがおのげんば



■ えがおの人  
酒田市倫理法人会会長  
**佐藤 英夫** 氏  
昭和31年 酒田市生まれ



■ えがおの現場  
**仏壇のさとう**

[社長] 佐藤英夫  
[創業] 大正5年  
[所在地] 酒田市二番町 8-8  
[事業内容] 仏壇・仏具・神具の販売  
塗り直し等の補修全般



「日本一明るい仏壇屋」というコンセプトのもと、日々仕事に勤しむ佐藤社長。その傍には常に妻の幸美さんの笑顔があります。100年以上の歴史を持つ仏壇店の三代目として、地元根差した商店の経営者としての佐藤社長の思いと、支え合う妻の幸美さんの思い。夫婦で学ぶ家庭倫理と地域の中で生かす倫理経営について話をうかがいました。

## 信用を繋いできた 先代の思いを受け継いで

佐藤 当店の歴史は祖父が古物商をしていたことから始まります。祖父には「手を汚さずに儲けるようなこととはするな。自分で汗をかきながら一生懸命働きなさい」と教えられました。父が公務員だったため、二代目を継いだのは母親です。私は高校卒業後、都内の問屋に就職しました



が入社から1年9か月ほど経ったころ、忘れもしない昭和51年、酒田大火が発生し、実家も店も焼失してしまいました。そのことが酒田に戻るきっかけになりました。その時に思ったのは、「店は全焼してしまっただれど店の信用は無くならなかった。先祖は本当に良い仕事を残して下さった」ということ。再建のために助けてくれたり、お客様として買いに来てくれたり、これは、それまで先祖



## 「日本一明るい仏壇屋」を目指して

しました。そのことを、今、一番実践しているのは妻だと思えますね。人との付き合い方がものすごく深く、すぐに仲良くなれる。倫理法人会に入って「明朗愛和」を学びながら、まさに地味でいってるな...と(笑)。酒田大火では1,767戸約3,300人が焼け出されましたが、市民の絆と行動力で2年半という短い期間で復興できたことは、今も災害復興への良いモデルとして語り継がれています。

幸美 当店には悲しみを背負いながら来店されるお客様も多くいらっしゃいます。悲しい中で決めなくてはいけないことがたくさんあって、それぞれ不安な思いを抱えながら店にいらっしやいます。少しでも心の負担が軽くなるようにいろいろお話しせていただくうちにゆったりとした

表情になり、笑顔になって帰られる様子を目の当たりにしながら「日本一明るい仏壇屋」を目指そうと思ふようになりました。  
佐藤 お客様の気持ちを受け止めながら、心の整理をするお手伝いをしていきたいです。

幸美 仏壇を買い求めると言ってもほとんどの方は初めてのことで、皆さん、不安ですよね。買い直しはしない商品なのでご希

## 倫理との出会い

望を少しずつお聞きして、十分に納得してもらったうえで購入いただけるよう、専門用語はなるべく使わずにわかりやすく説明することを意識しています。

幸美 実は、先に入会したのは私のほうです。お隣の「某匠菊池」の菊池さんから誘っていただき、平成20年に入りました。「せっかく会費を払うんだし、早起きして何かが変わるの



であれば休まずに聞きに行ってみよう」と、毎朝続けている犬の散歩をモーニングセミナーのある水曜日だけは夫に頼んで参加することにしました。帰宅すると必ず「今日はこんな話聞いたよ」と夫に伝えているうちに「俺も聞きにいこうかな」と言い始めて。私は「朝からまた一緒か」と思いつつ(笑)、社長たちの学びの場であれば夫も参加したほうがいいと思って一緒に行くことにしたんです。モーニングセミナーはベルで始まりベルで終わる。家族だ



取材中の  
ちょっとイイ話

取材中も終始笑いが絶えなかった佐藤社長と幸美さん。「私たち「宮川大助花子」みたいでしょ？」と笑う幸美さんを、笑顔で見守る佐藤社長の姿が印象的でした。



必要とされている物資を運んだりもしました。今だに、最終日曜日に「南三陸町復興市」に参加して、孟宗汁や玉こん、さくらんぼなど、山形のおいしいものを販売しています。

**佐藤** 妻は現地の人たちとのパイプも太く、愛称「幸美姉さん」、南三陸町の「顔」なんです(笑)

**幸美** その他にも、「着物プロジェクト」という企画で、県内外の多くの方から不要な着物を頂き、「酒田ま

けで商売をしていると、どうしても時間がルーズになりがち。あらためて「時間を守る」ことの大切さを意識できた気がします。会社の規模に関係なく、経営者として同等に学べる、一生懸命がんばれば認めてもらえる、誰にでも声をかけてもらえるということは、大人になるとなかなか経験できなくなりますから、それは嬉しいことです。



息子に感謝しつつ、  
親子で経営

**佐藤** 息子には、小さい時から「おまえは仏壇屋の四代目なんだよ」と言っていて育ちました。それが良かったのかどうかはわかりませんが、大学卒業後は迷うことなく当店に入社してくれました。後継者がいることへの喜びと、忙しい私たちをサポートして

つり」等で販売し、売上を南三陸復興の為に役立てて頂くために寄付を重ねております。こうした支援は継続していくことが大事だと思っているので、一人でも多くの人に喜んでもらえるお手伝いをしていきたいです。

頼まれたら断らず、  
まずは「んだのう！」

**佐藤** 会長職の話があったときに、反対はされないだろうとわかってたものの一応、妻にも相談しました。

**幸美** 私は、なんでも「んだのう！」と引き受けたいと思っています(笑)

**佐藤** 以前、県倫理法人会の青年部で山伏修行体験をしたときのこと。山伏の返事は、いつ何時でも「受けよう」だけ。倫理の考えと似ていますね。

**幸美** 役を引き受けてもらうためにお願するほうの気持ちもわかるので、余程のことがない限り、私自身断わらないようにしています。やってみてできなかったらできる仲間を増やせばいいし、それでもできなければ辞めるとい

くれる息子への感謝を忘れずに日々過ごしています。親として人として息子に見せられる姿になっていかなければと思ったのも、倫理に入ったきっかけの一つですね。これからも地域と繋がりながら、親子三人で切り盛りしていきたいと思っています。

地域との関わり、  
人との繋がり

**佐藤** 48歳、54歳まで、地元商店街の理事長を務めました。疲弊する商店街を何とかしようと、「方言によるまちづくり」を行いました。方言が書かれた暖簾や冊子を作って各店に置いてもらい、市外



からいらした方たちと街の人達が触れ合うきっかけにしようというもの。その時の取り組みは全国の商店街の77選に選ばれたりしました。大臣表彰も戴きました。でも、活動の最中は、「何のために、誰のためにやっているのか」など、迷うことや悩むことが多々ありました。人の協力なしでは何もできないということ、絆の大切さを教えられた6年間でしたね。

**幸美** 「人の喜びは我が喜び」という思いが、いつも私の中にあります。南三陸町の震災復興支援を継続しているのも、喜びがあるからです。震災の3年前から、南三陸町をはじめとする全国各地の商店街と防災ネットワーク作りを行い、防災への取り組みを行ってきました。震災直後は、うちの車を救援物資輸送車として南三陸町の人達との繋がりから、本当



う勇氣ある決断もあるでしょう。どんなに大変なことがあっても、乗り切るためには気持ちの切り替えが大切だと思えるようになりました。

モーニングセミナーの  
空気感と時間を共有

**佐藤** 会員数を増やすことは重要で

すが、「モーニングセミナーに出なくてもいいから入ってくれ」というのではなく、一人でも多くの方に、入会したからには、真剣に行っているモーニングセミナーの雰囲気や時間を共有してほしいです。普及には責任も伴います。人それぞれ入会のきっかけは違うと思いますが、朝の時間を有効に活用していただきたいです。



モーニングセミナー以外にも会員同士の交流の場がたくさんあります。各単会ごとの地域に根ざす活動や、倫理実践の気づきをご紹介します。

庄内中央  
倫理法人会  
ごあいさつ

### 退任するにあたり

振り返ればあっという間の3年でした。

まったくモーニングセミナーにも参加していない人間が会長職を引き受け、てしまい、正直困り果てましたが、富樫幸吉さんを筆頭に会員の皆さんの愛情あふれるフォローに支えられて何とか終えることが出来ます。紙面をお借りしまして感謝申し上げます。

1年目は分からない事だらけだったので、前任の役員さんに全て留任して頂きました。スタートして直ぐに困ったことは会員数が減少していて運営費が賄えない状況でした。県から借りたものの返済の計画が経たないものから、庄内ブロックの皆様の支援を頂いて「倫理寄席」の興行と「倫理経営講演会」でチケットを売りまくり何とか帳尻を合わせる事が出来ました。2年目に阿部敦専任幹事を筆頭に入会1年未満の若手を県会長辞令で役員に就任して頂き活性化に弾みがつきました。会員数も100社復帰して運営費で心配することが無くなりホッと致しました。初めて参加した北海道・東北方面会では他県の会長と交流を深めることが出来ましたし、活発な活動報告に大いに刺激を受けました。3年目はスタートして間もな

会長 小野木重弥



く次年度会長を阿部敦さんにお引き受け頂くことが決まり、安心して普及活動に取組むことが出来ました。また、初めて参加した「富士研」では、冷たい雪の上で正座することで家族や社員への感謝の気持ちが湧いてまいりました。研修のおかげ(?)で初めて妻へ手紙を書くことになりました。なかなか筆が進みませんでしたが、やっとの思いで手紙を書き終えると、新たに生まれ変わったかのように清々しい気持ちになりました。参加して良かったです。3月からは庄内ブロック一丸となり新単会設立に向けて普及一色。なかなか結果が伴わないまま最終日を迎えての会議。皆の知恵と頑張りで見事目標を達成することが出来ました。倫理活動をしていると不思議な事が起こります。最初はいやいやながら会長職を引き継ぎましたが、貴重な体験をさせて頂きまして心から感謝申し上げます。これからは何事にも「心を込めて」「理屈なしに」「ただ喜んで全力を尽くす」の精神で臨んで参ります。最後になりましたが今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

酒田市  
倫理法人会  
ごあいさつ

### 会長を引き継ぐにあたって

会長 佐藤英夫

酒田市倫理法人会の



会長職2年目を迎えました。思い起こせば九年前、お隣の酒田菓匠菊池さんの奥様から家内が懇願され入会。今では夫婦でおはよう倫理塾も参加し、心の持ち方が変わったことに感謝しております。倫理では多くの奇跡を目の当たりにしました。一年目会長として拡大に悩んでいた時、もう無理、ダメかと思つた目標が達成しました。また、今回の酒田市みずほ倫理法人会の設立も、一日で三〇社近く増える、これはすごかった。奇跡は自然に起こるのではなく、人の意思によって起こるべくして起こった現象と確信しました。また、富士研に行かせて頂き、自分が二十歳の時に亡くした母を思い浮かべては涙を流す等、普段の生活では味わえないような感動や気づきを与えて頂き大変感謝です。元来人前で話すのは大の苦手、あがり症、初心者で全く話せない男でしたが、こんな私がかか会長までさせて頂き、この貴重な経験はお金では買えないと思います、感謝の念で一杯です。本当に会長をして良かったと心から思います。安藤県会長は数多くの方に会長・役職者を経験させるという事で、山形県にも一つ単会を創り倫理の拡充を図る。そのことは、実際に会長をした今なら初めて解る事でした。また、今度は地区長を仰せつかることになりました。初めてのポストにつけて頂ける、なんてありがたいことか感謝です。地区長として出来る限り多くの方々に倫理法人会の良さを御理解頂き仲間を増やしたいと考えております。これからも皆さまからより一層のご鞭撻ご協力をお願い申し上げます。

新庄最上  
倫理法人会  
ごあいさつ

### 3年の会長職を終えて

会長 沼澤勝太郎



前会長の田中栄造さんから、「倫理法人会という、朝勉強する会がある。自分のためにMSに来てみたら？」と誘われたのが倫理法人会との出会いでした。確かに良い話を聞く事ができるので、しばらく真面目に通っていると、会長をやってみないかという打診を受けました。まさか自分が?と思いましたが「人柄が良いから大丈夫」という鈴木富士雄相談役のおだてに乗ってしまい引き受けることになりました。しかし、会長になった事を妻に言えず半年経ってしまいました。タイミングを見て告白した時、妻は「そんな大切な事どうして言ってくれないの?あなたについて来てくれる人いるの?」と心配してくれましたが、特に怒るわけでもなく見守ってくれました。頼まれ事は試され事。この意味を噛み締めながらとにかく私なりに頑張つてやってみました。約束の1年が結局3年になりましたが、役のお陰で、人前で話すのも苦手だった私が時々講話の依頼も受けられるようになり、周りの方も「怒らなくなった」「約束を守るようになった」と、私の変化を喜んでくれています。会長職は周りに支えられてこそ務まるという事を実感しています。今では本会にお引き受けし良かったと思っています。皆様本会にありがとうございます。

山形市  
倫理法人会  
ごあいさつ

### 会長冥利! 引き受けて良かった

会長 奥山康博



二代目の会長として早坂初代会長から自分としては重い大切なバトンを受けました。しかし北村山倫理法人会は「日本 明朗な単会を目指そう」をスローガンとし、発足より培われてきた結束力と温かな雰囲気既に確立されています。その最強の高橋進一専任幹事からサポートしていただいた事で迷いも苦労も無い楽しく充実した二年間はあっという間に過ぎました。会長になることで多くの実践の機会も得られ、菜の内容が上辺だけでなく体に染み込んで来ていると実感しています。また会員の皆様からは105社の目標達成と、MS出席率3位という退任にこの上ない素晴らしい華まで添えていただきました。感謝の言葉しかありません。会長を引き受けて本当に良かったと確信しています。MS会場に「一番乗りし」宜しくお願いします。S会場に「一番乗りし」宜しくお願いします。の挨拶は緊張しつつ清々しいのですが、北村山倫理法人会で倫理歴の最も永い西道精工の奥山浩哉社長に譲り、これから私は普及拡大委員長として恩返します。

米沢市  
倫理法人会  
気づきの報告

### 学びの場

研修委員長 小坂修一



研修委員長を拝命してもうすぐ一年になります。当初は何も分からず先輩役員の方々に助けて頂いての毎日でしたが、純粹倫理の素晴らしさや皆様の温かさに支えられながら今日まで役職を続ける事ができました。私は、仕事の傍ら甲子園出場を目標に高校野球の指導をし、これからの日本を担う若者に人としての考え方を伝えたいと考えています。そんな折、多くの先輩方が参加された「富士研経営者セミナー」でのお話しをお聞きするうち、これからの人生で富士研での学びは大きな財産になると思いました。日本創生の原動力になる若者に純粹倫理を伝えられる事を喜びと感じ、更なる学びをこれからも続けていきたいと感じました。私は今年度で研修委員長の職を離れますが今後も多くの方と共に学びをさせて頂ければ有難いです。今日まで何かと助けて頂いた皆様、本当にありがとうございます。





山形市蔵王  
倫理法人会  
イベント報告

『靴磨きセミナー』

青年委員長丹野一史

平成30年6月14日、山形市内の飲食店で青年委員会による『靴磨きセミナー』を開催いたしました。

青年らしく積極的な姿勢と、清潔感のある身だしなみで、どこに行っても恥ずかしくない会員になることを目指しました。

気軽にできる靴磨きを櫻井諭志先生に実演していただきながら、約1時間自分の靴を綺麗にしました。最初は靴の汚れ落とし。自分の靴から出てくる汚れに驚きましたが、次の工程でクリームを塗り、ブラシがけをすることで、みるみるうちに革にツヤとみずみずしさが出てきます。その様子に、皆さん驚きを隠せませんでした。これからも身だしなみに気を配り、清潔感ある倫理人でありたいと思います。

山形市中央  
倫理法人会  
イベント報告

「HIZATSUKI  
わっしょい」を終えて

普及拡大副委員長 浅倉啓一

6月22日に開催された山形市中央倫理法人会の「第2回HIZATSUKIわっしょい」の実行委員長をさせていただきました。HIZATSUKI「わっしょい」とは山形市中央倫理法人会の会員でもある



佐藤市長と若手経営者・後継者の会員が共に、山形活性化への想いを意見交換しながら楽しく交流を深める会です。



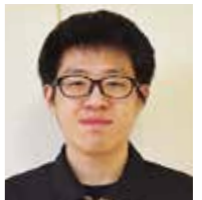
今回は山形市旅籠町に今年3月にオープンし注目されているguraさんの貸しホールで行われました。第一部では、「インバウンドに伝えたい私の好きな山形」と題して会員の方から事前に頂いた自分のお気に入りの食べ物や場所をスライドで紹介、第二部では自己紹介・自社PRを行いました。時間が足りなくなるくらい盛り上がりました。食べ物や飲み物、装飾も全て会員企業から御協力頂き、紹介をさせて頂きました。

参加頂いた方々からの「楽しかったよ」という言葉が心に染みわたりました。このような体験が出来たのも実行委員の皆様、参加頂いた会員の皆様、山形市中央倫理法人会の皆様のお陰です。有難うございました。

上市市  
倫理法人会  
気づきの報告

朝礼研修を  
受けて

会員 小松輝



6月21日に実施された倫理法人会主催の朝礼研修に参加してきました。

研修会は前半と後半に分かれていて、前半は座学、後半は活力朝礼を実際に行ってみるという内容でした。

前半の座学では、なぜ朝礼はマンネリ化するのか、活力朝礼の意味や効果を学びました。朝礼がマンネリ化する原因として、「目的が不明確、暗いスピーチ」などがあり、マンネリ化を避け、気持ちのスイッチを切り替えるというためにも活力朝礼が推奨されています。

後半は数人一組のグループに分かれて、活力朝礼を実践しました。今回の朝礼研修に参加して、活力朝礼の目的を再確認することで、日々の朝礼の意識を高め、仕事にもよい影響を与えていきたいと感じました。

鶴岡市  
倫理法人会  
気づきの報告

単会会長  
としての一年を  
振り返る

会長 小林秀樹



会長というお役を頂いていたからこそ乗り越える事が出来た壁がいくつもありました。

人と交わるのが苦手で、出来れば一人でいたいという私だったので、この会の役の重みはそう軽いものではなく、自分がどうという様な小さなこだわりはスカッと捨ててしまう必要がありました。

捨ててみると物事は上手く進むもので、これまで何としても進まなかった案件など仕事の上でも家庭の上でもほとんど好転して行きました。自分に自分で蓋をしてチャンスを取り逃がしていた事を思い知らされたのです。

多くの方々の協力や指導があったからこそ、そしてこのお役を頂いたからこそ、ちいさな自分が付くことができました。まだまだ道半ばですが、この気持ちを持続させ、次年度も会長のお役を全う致します。

山形市霞城  
倫理法人会  
気づきの報告

青年の集い  
交流集会

青年委員長 佐藤江利子



昨年11月に開催された倫理青年の集い「若手実践塾」から半年が過ぎ、7月8日『青年の集い交流集会』にて半年間の実践発表が行われ、僭越ながら発表の機会をいただきました。

2月にも会員スピーチの機会をいただき、原稿の作成を講座の時の資料を参考にしたり取り掛かりましたが、すぐに行き詰ってしまいました。困っていたところ「マインドマップ」という、紙に図や言葉を書いて、頭の中のことを目に見えるようにするというやり方を知り、早速行ってみました。「見える」形になったことで『私はこういっているがある』と自分でわかり、文章化しやすくなりました。自分を客観的な視点でみるために、わかりやすい形にまとめてみることは自分自身を知るために大事なことだと思えました。改めて自分のことを考える貴重な機会となりました。ありがとうございました。

天童市  
倫理法人会  
取り組み報告

新風が吹く  
天童のMS

専任幹事 佐藤正男



「実に質の高い、気の入った素晴らしい朝礼です」。本部講師や派遣講師からお褒めの言葉を戴くこと多く、ただし必ず「これだけの人数で」と付け加えられる。「これではいかん」と齋藤会長の気合がはいつた！そんな時、名古屋市中川区中央倫理法人会の200人朝礼の情報が入り、会長の熱いハートにさらに火がつき、今年一月から月1回の「30人モーニングセミナー」が開催される運びとなった。



当会の6月は、参加者が激減し、「6月合」と呼ばれ、恐れられている。そんな中、6月のモーニングセミナー朝礼は25名の参加を得て実施されたことは、評価に値する。(自画自賛…)他単会の参加者が多いと揶揄する声もあるが、四月以降20代、30代の若手が新しい風を吹き込んでおり、今後の展開が楽しみです。



井市  
倫理法人会  
ごあいさつ

### 2年間、 有難うございました

会長 小関利一

2年間にわたり会長職を担わせて頂きまして、本当に自己成長する機会を得ることが出来ました。



1年目の昨年8月26日、設立10周年記念式典並びに100社達成記念講演会を開催させて頂きました。単会のメンバーはじめ、県役員の皆様方のご協力、ご支援に感謝いたします。講師に法人局名誉専任研究員の川又久萬氏をお迎えし、テーマ「使命に生きるよるこび」と題して、倫理経営を学び、喜びの経営をやるうー」といって講話を頂きました。

2年目の今年7月31日、「100人イブニングセミナー」を開催、98名の出席者を結集することができました。講師には、若鯨取締役会長・法人SV伊藤俊郎氏をお迎えして、テーマ「時代の変遷に対応する倫理経営と人材育成」と題して講話頂きました。伊藤氏は「万人幸福の葉は生活改善のかたまりであり、私は倫理を学ぶ前から倫理観を持って、日常生活や仕事に力一杯実践してきました。11条 万物生々、12条 捨我得全、13条 反始慎終などは、私が正にその通りに実践してきた事が証明となり、更に磨きがかかりましたことを実感しております」と話されました。素晴らしいイブニングセミナーでした。

私も2年間会長をさせて頂き、良かったと思いますと共に、素晴らしい仲間との出会いに乾杯したいと思います。有難うございました。

南陽市  
倫理法人会  
気づきの報告

### 倫理を 学んで

事務長 本木茂隆

モーニングセミナーに参加させて頂くようになり四〜



五年が過ぎました。毎回すばらしい講師の方々の講話を拝聴し勉強になることばかりです。人が生活し良い人間関係を築くうえで挨拶は大切であります。実践することで尚強く感じる事が出来る様になり、先手の挨拶を心掛けています。また、いろんな場面で気づくことが多くなり倫理を学ぶ前とは違うということを感じます。気づいたらすぐすることが、物事をしとげる秘訣との倫理の教えに少しでも近づき実践していきたいと思っています。そしてこれからも前向きに物事を考え一歩一歩人間として成長していきたいと思っています。

## 第1期 山形県倫理経営塾 卒業式 倫理経営塾運営委員を通しての気づき

山形県倫理経営塾 運営委員 小島一晃

私は5年前に宮城倫理経営塾に入塾し、経営計画書を作成しました。講師陣の意気込みは正に真剣そのものであり、彼らの発言には「凄み」がありました。塾頭をはじめ講師陣の方々には土日の丸々2日間を6か月に渡りみっちりとしても手弁当で指導して頂きました。本当に魂のこもった厳しいアドバイスを沢山頂いた事を未だに覚えています。今回、山形県倫理経営塾の立ち上げには宮城倫理経営塾で受けた御恩をお返しする意味も含め、2つ返事で参加させて頂きました。

引き受けるに

あたって問題がありました。それは第二講の日程が結婚式と重なった事です。当初は結婚式を優先し、塾を欠席する予定でした。しかし塾が始まる前に「教える側の心構え」を宮城の及川副塾頭から学ん



だ際、「塾の成否は講師陣の本気度で決まる。講師の本気が伝わらなければ生徒は本気になるわけがない」と言われました。私はこの言葉聞いた時に本気で塾の運営に携わろうと腹を決めました。例えば身体は式に参加できずとも結婚する二人へ祝福の気持ちを届けることはできる、目的を達成するためには手段は無限にあるという事を実感しました。及川副塾頭のおかげで万難を排して山形県倫理経営塾の運営に挑む事ができました。

いざ開塾の日を迎えたわけですが、その最初の第一声は高橋進一運営委員による「起立」の一言でした。高橋さんの気合の入った第一声は、声量・表情・凛とした佇まい、全てに気持ち表れていて、会場の緊張感が一気に高まりました。講師陣の本気度を一言で表現して頂いた事で塾の成否はあの瞬間に決まった様なものだと思います。それだけ物事のはじまりが重要である事、言葉は発する人の想いによって伝わり方が全く異なるという事を実感しました。

万人幸福の葉には「尊己及人」という言葉があります。今までは自己犠牲の精神を謳っているように感じておりましたが、塾生への

山形市  
倫理法人会  
気づきの報告

### 平成30年度新旧 基礎研修に参加

広報委員長 国島潤一

7月3日に平成30年度新旧役職者基礎研修が寒河江市シノンフォニアネットワークスで行われ、参加してきました。今年度も那須隆方面長が講師を務められ、お昼をまたいで約3時間でしたが、独特の語り口に時間はあっという間に過ぎた感じがしました。



主な内容は、平成31年度法人局方針、役職者必携を使った役職者規定や職務について、最後に純粋倫理の基本実践について講話いただきました。

基本実践とは、①早起きをし、目覚めたらサツと起きる ②明るく朝の挨拶を交わす ③元氣よく返事をする ④家族を喜ばせる ⑤家族の話をしっかり聴く ⑥亡き家族先祖に朝夕の挨拶をする ⑦物に対する実践 ⑧金銭に対する実践 ⑨きちんと後始末する ⑩感謝の清掃をする ⑪心配しない ⑫プラス言葉を使う ⑬嫌がらずに喜んで受ける ⑭自然への感謝 ⑮その他気づいたことを実践するです。しかも心をこめて実践するということです。皆さんはどれだけ実践されているでしょうか。今回研修に参加して、私は幹事として3年務めてきましたが、まだまだ実践不足だと改めて感じる事ができました。今後は、一つでも多く基礎実践が習慣化できるように意識していこうと思います。少しの気づきが、自身や会社の成長に繋がるのだと思いますので、会員企業の皆様も気軽にMSに参加してみてください。来年度も宜しくお願いします。



指導を通して自分の解釈が全く変わりました。即ち相手に尽くすこと・己の一切を捧げることは決して自分を犠牲にする事ではないと。塾生の成長を心から願い、真剣に塾の運営と指導に取り組んだからこそ、卒業式では大きな感動が待っていました。こちらが本気になる事で、相手も本気になる。つまり自分の行いが必ずそのまま自分に返ってくるという大変重要な学びを得る事ができました。しかもその学びは机上の空論ではなく、実体験として私の中に深く刻まれたという意味でこの4か月間は大変貴重な時間でした。塾を通して学んだのは実は私の方だったのだとすら感じます。このような機会をいただいた事を本当に嬉しく有難いと思っています。

一緒に運営に携わった仲間として、講師陣の諸先輩方に厚く御礼申し上げます。最後に、塾生の皆さん、卒業おめでとう！そして有難う。

